

別表2

1. 法文学部学問基礎プログラム(10単位)

(1)プログラムの目的

社会の急速なグローバル化・情報化・高度化が発展し、国際関係・政治・経済社会・文化の再編が進むと共に、近代的価値観や「知」が問い直されている。本プログラムは、人文科学、社会科学を網羅した文科系総合学部の学問基礎プログラムとして、現代社会や地域社会が抱えるさまざまな問題を解決することのできる基礎的専門知識を身につけ、創造的・実践的能力を有する人材を広く育成することも目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

- ①山陰地域の抱える過疎化と高齢化に伴うさまざまな問題への取り組みについて、具体的な事例を挙げて説明することができる。
- ②人間の営みとしての思想・文化・社会のあり方や課題について、人文・社会科学の諸分野の研究手法を用いて調査・分析することができる。
- ③高い倫理観と豊かな教養を身につけるとともに、基礎的専門知識を実践することができる。
- ④現代社会や地域が抱えるさまざまな問題の場に自らの役割を持って、主体的に参画することができる。
- ⑤急速なグローバル化・情報化・高度化に伴う、国際関係・政治・経済・社会・文化の再編について他者と議論し、合意を形成することができる。

(3)履修資格

法文学部の学生は本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者(以下、「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラムの履修申請
- 二 その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

- 次の要件を全て満たすこと。
- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 下記履修表により履修し、選択科目10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

- 次の要件を全て満たすこと。
- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 選択科目を10単位修得済み、または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	政治学	2	/	10
	地方自治法	2		
	財政学 I	2		
	経営学	2		
	文化人類学入門	2		
	経済地理学	2		
	考古学概論 I	2		
	現代史概説	2		
	哲学概論	2		
	日本語学概論	2		
	中国語学講義 I	2		
	英語学講義 III	2		
合計			10	